

港中だより

伊勢市立港中学校 No.20

R3. 11. 25

校長 金森 晃生

修学旅行に行きました



11月17日と18日に修学旅行に行きました。新型コロナウイルス感染症の影響で、当初の計画から、日程、行き先など大きく変更になったにもかかわらず、生徒のみなさんは感染症予防対策などを行いながら、旅行を楽しんでくれたようです。解散式時には、ほとんどの人が「楽しかった」「多くの思い出ができた」と言ってくれました。私も2日間でしたが、楽しい修学旅行になりました。



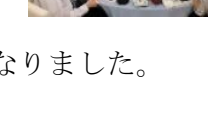
修学旅行初日、素晴らしい天気恵まれ、出発式に始まり、一路和歌山県に向かいました。バスでは感染症対策により、乗車中もマスクを着用し、大きな声ではしゃべれないなど、ルールはありましたが、隣の人とおしゃべりをしたり、お菓子を食べたりするなど、楽しい思い出ができたようです。



最初の見学地は、和歌山県「那智大社」でした。最初に、那智大社を見学する班は、467段の超過酷な階段を上がりました。私は途中ですでに足が痛く、足が上がらなくなりました。しかし、さすが中学生、走って上る強者もいました。山頂の神社から見る景色は素晴らしく、三重塔と那智の滝が見事に見え、疲れを忘れることができました。那智を出発し、そろそろおなかもちぎれ始め「太地町立くじらの博物館」に到着しました。まずは昼食を食べて、イルカショーやクジラショーを見学しました。その迫力と演技のすばらしさに圧倒されました。次に、伊勢湾とは違い、太平洋の外海を見ながら、潮岬にある「南紀熊野ジオパークセンター」に行きました。ここでは、紀伊半島が3つのプレートにより生まれた、その歴史や自然や景観を、映像や実験によって体験することができました。また、この地域は、川や滝などもあり、自然の恩恵を受けていますが、その一方、水害や土砂崩れなど自然災害への備えも必要な地域であることなどを学習しました。見学後は、日暮れが迫っている「望楼の芝」と名付けられた、本州最南端の潮岬にある広い芝生の公園でしばらくくつろぎながら、水平線が見える太平洋に沈む夕日を眺めました。



日が暮れた中、バスは宿泊場所である「ホテルハーヴェスト南紀田辺」に向かいました。到着後、各部屋で検温や体調の確認をおこない、クラス別に、パーテーションで仕切られた円卓でしたが、夕飯をいただき、ご飯をお替りする人もたくさんいました。その後は、各部屋で楽しい時間を過ごし、消灯時間になりました。



2日目は、少し風があり、時折晴れ間も見える、曇り空でした。それでも、誰一人体調を崩す人はおらず、元気にホテルを出発し、「三段壁」に向かいました。

三段壁では、洞窟内に弁財天が祭られており、熊野水軍の伝説もある歴史とロマン、そして、伊勢のような内海と外海の海岸線の違いや、波の様子、地質の違いによる、スケールの大きな景観を堪能し、自然の驚異も感じてくれたことでしょう。



次の見学地は、エネゴンが出迎えてくれた「白浜エネルギーランド」でした。ここでは、遊びながらエネルギーの大切さを学ぶ、体験型テーマパークです。映像エリア、不思議な森エリア、体験迷宮エリアから構成されており、たくさんの体験、学びがありました。みなさんも時間が足りないほど、満喫したのではないのでしょうか。

途中、橋杭岩で休憩を取り、和歌山を後にし、最後の見学地、尾鷲ヒノキの香りが漂う「熊野古道センター」に行きました。木材をふんだん



に使用した、外観のすばらしさを感じながら、世界遺産である熊野古道と、その道とともに受け継がれてきた文化を学びました。そして、尾鷲ヒノキを使つての箸作りに挑戦しました。



楽しかった修学旅行も、熊野古道センターを最後に、バスは多気サービスエリアに向かいました。もうすでに真っ暗になっていましたが、ここで解散式を行いました。生徒代表のあいさつや旅行者の方々など、この修学旅行を支えてくださった方々

から、生徒のみなさんの今回の旅行に対する行動について、お褒めの言葉をいただきました。私は、今回の修学旅行で、みなさんに「楽しむ」「思い出をいっぱい作る」という目的と、「時間を守る」「思いやりの心を意識する」という2つの願いをしました。お願いについてのみなさんの行動には、本当に感心させられました。すべての集合について、5分前には全員がそろっていました。時間を守ることは当たり前のことですが、人が多くなれば意外と難しいことなのです。しかし、今回は実行されていました。また、相手のことを考え、気を遣った言動もあちこちで見られました。どちらのことも、一人ひとりが‘自覚と責任’を持って行動した結果です。冒頭にも書きましたが、楽しく、多くの思い出を作る目的が達成され、また、私のお願いを実行してくれたみなさんに感謝します。そのおかげで、私も本当に楽しい修学旅行になりました。

修学旅行を終え、みなさんはきっとたくさんの思い出を胸に刻んだと思います。これからも、仲間を大切に、一人ひとりが感じたこと、学んだことを実践し、思いやりの心を持って、これからの学校生活で生かしてください。素晴らしい修学旅行をありがとう。



～3年生の保護者のみなさまへ～

日頃は本校の教育活動にご理解、ご協力をいただき、さらに各ご家庭でも検温、マスクの着用等、感染症予防対策にご協力いただきありがとうございます。

今回の修学旅行に際しましては、日程、旅程等の変更がありました。個人旅行ではありませんので、子どもたちは、我慢したり、努力したことで、みんなが無事に修学旅行を終えることができました。この経験をこれから生かしてほしいと思います。ご理解、ご協力いただきました保護者のみなさまに感謝申し上げます。